



切磋琢磨

豊田市立井郷中学校
令和5年 3月 7日

いきいきと学び さわやかに とともにのびゆく われら井郷中生

第37回卒業式 卒業おめでとうございます。

井郷中学校の校訓は「切磋琢磨」です。開校以来三十七年つないできたものです。「互いに励まし合い、鍛錬や修行をして高め合う。仲間が協力したり、競ったりして技量を高める」という意味です。学校の廊下には「学校中のみんなが互いに励まし合い、向上しようとする」と掲げてあります。つまり「切磋琢磨」は、一人ではできないんです。仲間がいてこそ、磨き合える、高め合える、成長できるのです。先輩や後輩がいてこそ、がんばれた。一人じゃない。だから、今ここまで成長できたんです。周囲の人への感謝の気持ちを忘れないでください。

4月に3年生になったから先輩になれたわけではありません。この2年間、感染対策で交流を制限されて「先輩の姿を見ない最上級生」が、先輩としての姿を精一杯見せてきた1年間でした。3年ぶりの行事が多く続いた中、試行錯誤で先輩として過ごせた時間は、尊い大切な時間だと思えます。3月2日の卒業式予行練習では、在校生に第37回生の「卒業」の様子を見届けてもらいました。7日の卒業式当日には見せられない姿を見せました。午後からの卒業を祝う会では、小学校の卒業式では、届けられなかった卒業生への思いを、しっかりとたっぷりと感謝の気持ちを届けました。楽しく明るく、思い出を振り返るとともに卒業生への感謝が込められた会でした。卒業生の思いに感謝して、その思いを引き継いで、バトンを受け取り、次へとつなぐ素敵な時間でした。

後輩たちからの温かい風にのり、大きく羽ばたいていきましょう。



3月2日 素敵な招待状を見て、喜ぶ卒業生



3月2日 卒業式予行練習で校歌を在校生に贈る



3月2日 卒業を祝う会でのプレゼント
(キーホルダー) 贈呈



3月2日 卒業を祝う会の最後に、在校生から歌のプレゼント
「変わらないもの」
君と出会った幸せをかみしめながら、歩いていこう。景色がかわっても、変わらないものがある。心の中に。

令和4年度 井郷中学校より

3月2日 卒業を祝う会 とても温かな感謝の詰まった会でした。

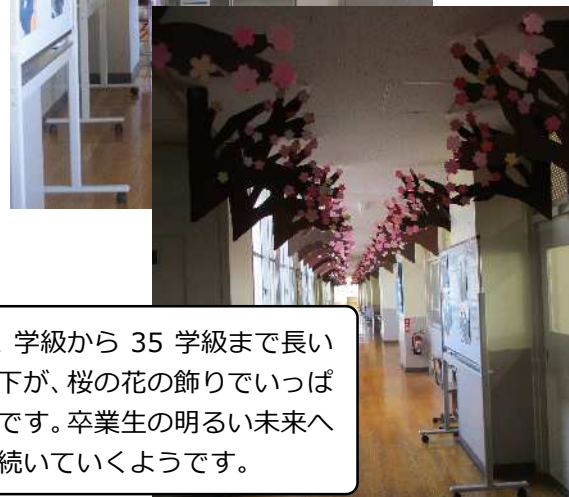


在校生からの気持ちがこもった卒業の飾り

3年生の昇降口



3年生の教室前の廊下



31 学級から 35 学級まで長い廊下が、桜の花の飾りでいっぱい。卒業生の明るい未来へと続いていくようです。

在校生が、これまでの感謝の気持ちと卒業して新たな一歩を踏み出す卒業生への応援の気持ちで、歌や飾りを贈りました。

卒業おめでとうございます。常に私たちを、リードして下さった先輩方。今まで、ありがとうございました。

私たちが在校生も、よき伝統を受け継ぎ、さらに発展させることを誓います。(在校生代表)

3年生の昇降口から続く階段に



3年生の昇降口から続く階段に

3月7日(火) 旅立ちの日

在校生たちからの応援メッセージが感じられます。一步一步自分の足で、自分の決めた道へと歩んでいきましょう。



1年生が感謝の思いを込めて、飾りを作りました。